

平成28年度 学校法人三幸学園 大宮スイーツ&カフェ専門学校

自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 前川祐一

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 長山慎太郎

1. 学校の教育目標

三幸学園は、昭和 60 年の開校以来『技能と心の調和』を教育理念に掲げ、教育を展開してきた。ここでは、社会への有益な職業人を数多く輩出することを目標に、“有益な職業人とは、専門的知識・専門的技術を十分持ちながら、常に変遷する社会に対し柔軟に対応するため日々研究・研鑽を続け、職業人としての使命感をしっかりと確立した人物”と定義し、心豊かな人間性を育む教育に注力している。

この基本理念は、教職員に対しては、教職員手帳、「三幸学園の原点 あきらめない教育」に明記し配布しているほか、全教職員が一同に集う「ビジョンミーティング」、「サマーセミナー」においては、学園長及び理事長からの訓示の中で繰り返し唱え、各姉妹校で行われる年3回の全体会議にて共有化を図っているものである。また、学生に対しては、「入学式」や「スタートアッププログラム」において、校長や教職員からの言葉として示すとともに、本校独自のカリキュラム「未来デザインプログラム」の授業で使用する「夢のスケッチブック」に記載し周知を図っている。このほか、受験生、高等学校、保護者等に対しては、オープンキャンパス、高校訪問、保護者説明会などを通じて伝え、また、パンフレットに明記することにより学内外の周知に努めている。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

①重点施策振り返り

【H28 年度に定めた課題事項】

- ・教育理念や目指す人物育成像の指導の徹底
- ・退学率減少
- ・教職員の労務管理

《振り返り》

- ・退学率減少、目指す人物像に育成する為、全教職員の研修、情報共有が前年よりなされた
- ・教職員の残業の管理強化と業務の精査により労務環境が良くなり、学生に還元できる時間が増えた

【今後の目標】

- ・教職員の当たり前の実践
- ・意識改革(時間管理・挨拶・清掃等基本行動を教職員から見直し学生に還元する)
- ・労務管理の更なる徹底(残業時間の短縮)
- ・退学率 4%

・学校関係者評価委員会コメント

特になし

3.評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

(1). 教育理念・目標

① 課題

・ 『教育理念、人材育成像』外部及び学生への浸透並びに、学生の成長

② 今後の改善方策

・HPや掲示物、教員によるたび重なる積極的な外部及び学生、保護者への目に留まる掲載と呼びかけ

③ 特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

・学校側の手厚いサポート(就職・学校生活の中で)を強く感じる事が出来る。

・就職後の現場の事を考えて指導していることが伝わる授業をしている。

・生徒と教員の間距離感が近く理念、目標などが日常の学校生活でつたえられている。

(2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4

教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・契約形態の整備、有期雇用無期雇用者の整理調整
- ・教職員の労務管理

② 今後の改善方策

- ・コンプライアンス遵守体制の確保
- ・労務管理体制の徹底

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員コメント

製菓、調理業界共に労務管理努力をされている企業様が多く、学園でも改善方向へ勤めている

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

・学生の学びとなる、業界関連企業との産学連携の機会が少ない

② 今後の改善方策

・業界関連企業にヒアリングをかけ、産学連携を増やしていく

③ 特記事項

特になし

④学校関係者評価委員コメント

・インターシップ期間が短く、もう少し機関があってもよかった。その場合は企業様の受け入れ態勢が整っていることが条件

・実務的な授業が多く就職時に役に立つことがあり、今後もより多くの実践的な授業を多く取り入れたい

(4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

有効求人倍率の向上と各分野の就職先における人材ニーズに合わせた教育

② 今後の改善方策

求人や実習先の新規開拓とともに求める人材像のヒアリングと把握

③ 特記事項

特になし

④学校関係者評価委員コメント

・現状は自分の事をアピールできる生徒とできない生徒で多く分かれているが、就職試験時などには状況を把握し適切なコミュニケーションが取れている生徒が多い印象

・生徒と教員の距離感が近く、生徒が望んでいる企業様に対してマッチングしやすい状況

(5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4

課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

就職支援に関しては担任が中心となり属人化しがちであり、卒業生に関しても各担任によるところが大きい。

② 今後の改善方策

・就職支援の各教員のレベルアップと卒業生のつながりを強化する。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員コメント

担任主導で行われていたが他の教員からの指導も多く、情報を持った状態で自分が望む就職が出来ている生徒が多い印象。

卒業生との接点がまだ多くないので、接点が多ければ再就職や起業時に接点を継続的に持ちたい

(6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災、安全対策に対する体制は整備されているか	3

課題

- ・教室環境の見直し(冷暖房設備)
- ・災害時の避難場所や避難経路の周知が徹底されていない
- ・学生への指導(社会人の心構えや生活指導のレベル)が属人化されがち

② 今後の改善方策

- ・教室環境の定期的な見直し、管理徹底
- ・避難場所や施設管理の周知を強化する
- ・教職員の体系変更(新人担任の指導強化)

③ 特記事項

・特になし

③ 学校関係者評価委員コメント

・特になし

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・平日の実際の授業を見せる機会が提供できていない
- ・「技能と心の調和」の心の教育の大切さを伝え、見せる場が少ない

② 今後の改善方策

- ・学校見学会、放課後の高校生と保護者向けイベントを増加

③ 特記事項

- ・特になし

学校関係者評価委員コメント

特になし

(8) 財務

【評価項目】 (評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方法

【中期計画】

今年度中新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情

報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員コメント

・特になし

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

- ・自己評価の実施
- ・自己評価にもとづいた問題点の改善

② 今後の改善方策

- ・継続的实施
- ・問題点の明確な洗い出しと迅速な改善策の実践
- ・評価公表方法の明示

③ 特記事項

特になし

⑤ 学校関係者評価委員コメント

特になし

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

課題

地域貢献・社会貢献に関する活動をする機会が少ない。

① 今後の改善方策

- ・地域住民をお招きしてのサロン開催日を増やす。
- ・学生に学び、成長のあるボランティア活動の増加

② 特記事項

特になし

学校関係者評価委員コメント

地域の方に来ていただく店舗実習などは継続的に進めていき、ボランティアなどの機会を増やしていけると良い

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

■学校運営について

方針・目標が全体に浸透しており、また運営体制もしっかり行われており、評価できる。

また教職員に対してコンプライアンス教育や、専門力を高める教育なども行っており、教職員育成も着実に行われているところが学校の質を高めている。

■教育について

技能教育については、資格合格率が非常に高く、また実践的教育も行われている。また人間力教育については、「未来デザインプログラム」などの独自カリキュラムなどを入れており、業界の求める人物像を意識した育成ができており高く評価している。今後は業界のニーズも常に変化しているため、業界が求める人物像、資格・スキルを把握した上で、質の高い専門教育を行って欲しい。

■その他

広報活動においては、生徒募集における様々な工夫がされており、分野において宮城県 NO1の生徒が集まっていることは非常に良い広報ができています。また財務状況も安定しており、安定した運営ができています。

今後は、避難訓練を頻繁に行うなど、いつでも緊急な対応ができるように準備を整えて欲しい。

全般的には、評価 10 項目において、ほぼ昨年以上の維持・改善ができており、非常に健全な学校運営ができていると思われる。